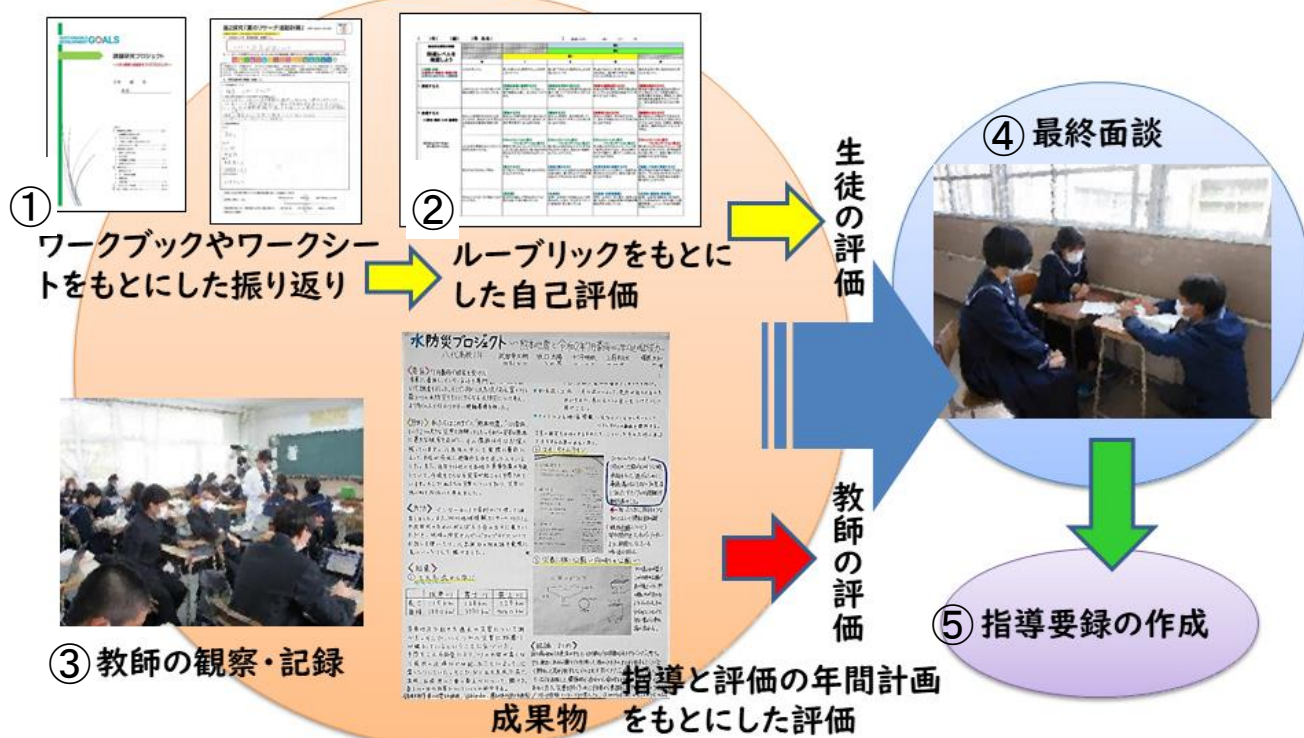


熊本県立八代高等学校 年間の評価（評価の総括）について



- ① ワークシート中に授業の内容を自己評価する項目を設け、毎時間の学習の到達度を確認する。（項目は、「指導と評価の年間計画」の評価規準（B規準）に沿って設定）
- ② 1年間の探究活動の中で作成した成果物等を振り返りながら、ルーブリック表で「探究する力」「表現する力(1)」「表現する力(2)」「協働する力」「学びに向かう力」の5項目について、自己評価を行う。それを4月当初のものと比較し、学習の伸びを視覚的に確認する。
- ③ 「指導と評価の年間計画」で設定した評価規準（B規準）に則って、授業の様子や成果物をA～Cの3段階で評価する。評価内容と、生徒の活動を観察する中で得られた生徒の成長する姿や発見、行った体験活動等は、電子媒体や紙媒体に記録する。
- ④ 生徒が記入した年間振り返りシートとルーブリック表、ならびに教師側の評価に関する資料をもとに最終面談を実施する。面談を行う中で、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に合わせて、生徒が身に付いたと答えた力を具体的に確認する。
- ⑤ 指導要録の作成
 - 活動内容について**
生徒の年間の振り返りシート等をもとに、活動内容を記述する。
【記入例】SDGsの視点で社会の課題や自らのあり方を考えながら、「〇〇〇〇」をテーマに調査・研究を行い、ポスターセッション形式の発表を行った。
 - 評価について**
最終面談で得られた評価内容をもとに、学習評価を記述する。
【記入例】SDGsの視点を生かしながら、社会課題の解決策を考え、〇〇〇〇活動を行ったことで、△△力、□□力、◇◇力が身に付いた。